



代表者 **石原秀行** 教授

- メンバー **Jahan Mir Rubayat** 学術研究員
大西英理子 学術研究員
岡史朗 講師
弓削類 株式会社スペース・バイオ・ラボラトリーズ取締役
松本俊彦 講師
高見太郎 教授

本研究により解決される課題

脳卒中（ヒト）

技術の内容

スペースバイオラボラトリー社と提携し、同社開発の Gravite（無重力擬似細胞培養器）を使用して培養した幹細胞を移植する



技術の独自性・優位性

- ①無重力擬似細胞培養方法を使用していること
- ②投与方法で動脈内投与も検討していること
- ③幹細胞治療とリハビリテーションを組み合わせた実験を行っていること

業績例

1.Jahan Mir Rubayat, Stem Cells for Treating Cerebral Ischemic Stroke: A Promising Frontier in Regenerative medicine 第1回細胞デザイン医学研究所コロキウム 2025. 5.26

共同研究

脳梗塞に対する死亡由来幹細胞治療（ロート製薬）

現在得られているデータの概要

マウスを使用した脳梗塞モデルに対し、急性期幹細胞投与とリハビリテーションにより、非投与に比べ運動機能、認知機能の改善を得ている。

